

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 486 号	氏名	佐藤 信也
学位審査委員	主 査 永山 雄二 副 査 上平 憲 副 査 西田 教行		
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、染色体正常型の急性骨髄性白血病（AML）における強力な予後予測因子であるミエロペロキシダーゼ（MPO）染色性と各種遺伝子異常の関連を検討したもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 MPO 染色及び遺伝子塩基配列結果を臨床データと共に統計的に解析した研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、CEBPA（CCAAT/enhancer binding protein-α）遺伝子変異例では全例で MPO が高発現していることを明らかにした。しかし FLT3 遺伝子変異を伴わない NPM1（nucleophosmin 1）遺伝子変異例やその他の群では MPO は低発現、高発現例とも認められた。また FLT3 変異陽性群は末梢血白血球数が有意に高く、細胞増殖亢進していることが示唆された。また正常核型 AML のうち、CEBPA 変異陽性で MPO 高発現の症例では抗癌剤治療への反応性が高いことが示されており、AML 予後予測ならびに治療法選択に有意義な知見を提供している。今後の AML 治療法研究への進展が大いに期待される。			
以上のように本論文は白血病研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			